

■ごあいさつ

なぜ子どもは人形劇が好きなのでしょう？

どうしてあんなに無心になって人形劇を楽しめるのでしょうか？

たぶん、人形にはもちろん、森の木々にも、動物たちにも、石ころにまでも命や心があると信じているからです。

あまりに早く、科学万能の世の中に放り出されてしまった子どもたちの心は、乾いています。

やさしさは、人間や万物が生命の営みを共有していると感じる気持ちが源です。

人形劇のもつ不思議な力は、きっと子どもたちを空想の世界で遊ばせることでしょう。

私たちは子どもたちをもう少し長く、ファンタジーの世界にとどめておいてあげたいと思っています。



カミナリさまのおしごと

昔話「傘屋の天のぼり」より

うらかなある春の日、傘屋の母親と息子の庄太が庭いっぴいに傘を干していました。風が出てきたので庄太が傘をとりこもうとしたとき、春一番が吹いて、庄太はあれよあれよという間に傘をもったまま飛ばされてしまいました。

風によって空高く舞い上がった庄太は、落ちないように必死で傘にしがみついていたのですが、とうとう傘がこわれて真逆さまに地面に落ちて、かと思ったら着いたところは雲の上。

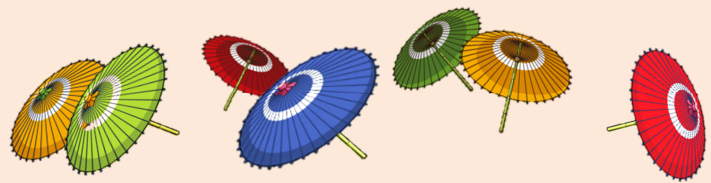
目の前にあらわれたカミナリ様の顔を見て、庄太は大声で泣き出しました。カミナリ様は庄太をなだめすかして飛んできたわけを聞きました。家に帰りたいとぐずる庄太でしたが、地上に帰る方法が見つかるまで、しばらくカミナリ様の仕事を手伝うことになりました。雨をふらしたり、風をふかせたり、もちろんカミナリ様をおとしたりするのが仕事ですが、どんな仕事にもいろんな「わざ」や「ちえ」がいらします。季節によって雨や風の強さもちがうし、つかう道具もちがいます。自然のしくみにについても知らなければなりません。庄太にとってはなにもかもが初めての体験で、失敗ばかりでしたが、春から夏へ、秋から冬へと季節はめぐり、泣き虫でわがままな庄太にも少しずつやる気が出てきました。

一年が過ぎたある日のこと、庄太がなにげなく下界を見下ろしていると、色とりどりの傘が干してあるのが見えました。その間を動き回る小さな人かげはきつと母親にちがいありません。そう思ったとたん庄太の目からは大粒の涙があふれでました。その涙が陽にてらされてキラリと虹色にかがやいたのを見て、カミナリ様にある考えがひらめきました。「庄太、仕事だ、雨をふらせる用意をしろ！」……はたして、庄太は無事に家に帰ることができるのでしょうか？



とらまる人形劇団 検索

劇団ホームページとフェイスブックで
過去作品の上演風景などご覧いただけます！



お問合せ・お申込みは・・・

■上演の手引き

- ・会場に特別なステージは必要ありません。
- ・舞台には間口 5.4m × 奥行 4.5m × 高さ 2.7m位のスペースが必要です。
- ・上演に必要な機材はすべて持ち込みます。
- ・電気の容量は 20A (アンペア) 程必要です。
- ・上演効果をあげるため暗幕をご用意下さい。
- ・上演時間は約 60 分で、準備に 90 分、片付けに 60 分程度かかります。
- ・1 回の公演定員は 200 名までが適当です。
- ・上演料は観客数、距離によって異なりますので、お問い合わせ下さい。
- ・ご予約はお早めに……。

とらまる人形劇団



一般財団法人とらまる人形劇研究所

〒712-8014 岡山県倉敷市連島中央 1 丁目 11-7

TEL 086-486-1305 E-mail: puppet@toramaru.link

FAX 086-486-1306 http://toramaru.link

■とらまる人形劇団とは…

2003 年からの 10 年間、香川県東かがわ市にあった日本で唯一の人形劇学校“パペットアーク”。この学校は一般財団法人とらまる人形劇研究所によって運営され、様々な取り組みを行ってきました。「とらまる人形劇団」はその人形劇学校の卒業生によって 2005 年に財団附属の専門人形劇団として旗揚げし、2013 年 4 月から岡山県倉敷市に拠点を移しました。今年で結成 14 年目を迎えます。人形劇表現の追求と、地域に根ざした活動を目指す「とらまる人形劇団」に、どうぞご期待下さい。